

姫路市立こども発達支援センター「といろ」 中核機能のとりくみ

姫路市立こども発達支援センター「といろ」は、地域の発達支援の中核的な役割を担う機関として以下のようなとりくみを行っています

●幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能

- こどもの特性や育ちに配慮しながら、個々の目標に応じた支援を行っています。季節に応じたあそびや行事など豊かな経験の中で、こどもが生活や遊びの主体となり、意欲を育めるよう支援しています。
- 発達医療センター花北診療所の医療専門職、発達相談担当の心理士・相談員などの多職種が連携して関わり、幅広い視点から支援を行います。
- 保護者がこどもの特性や困り感を理解し、家族みんなが生活しやすくなるように、それぞれの家庭に合った子育ての工夫を保護者とともに考えます。
また、保護者同士の交流や情報提供の機会を通して保護者が主体的に子育てに向き合えるよう支援します。

●地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能

- 市内の児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援・放課後等デイサービス事業所等と、こどもへの支援をともに考える「といろの地域支援」を実施しています。
- 事業所向けに障害児支援に関する研修会等を行っています。

●地域のインクルージョン推進の中核機能

- こども保育課と連携し、発達支援の研修、グループワーク、ケース検討、保育体験等を通して、保育所こども園のエンパワメントを目指しています。
- 学校、保育園所、こども園、幼稚園等への巡回相談を行っています。

●地域の発達支援に関する入口としての相談機能

- 地域の保健センターや発達の相談窓口と連携し、気づきの段階から子育てと生活の支援を行っています。

●その他

- 年に1回、第三者を交えた、サービスに関する自己評価（保護者評価を含む）を行っています。
- 児童発達支援事業の支援プログラムを公表しています。
- 職員は外部機関が実施する研修に参加するほか、他事業所等の見学、職場内研修の実施により、支援力の向上に努めています。